

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

自主貢献

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和8年6月3日(水)

発行者 学校長 若杉 栄一

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 045-401-3644 FAX 045-431-0244



大切なもの「福祉」と「平和」

校長 若杉 栄一

以前から関心はあったのだが、なかなか機会がなく「手話」を使うことがなかった。いつかは実現したいと考えていたのだが、一昨年と今年の3月に自分でチャンスをつくることができた。卒業式の学校長のことばに手話を取り入れてみたのだ。手話を必要としている方の講演を聞いたり、関連の本を読んだりしていた時のことだ。自分自身が知るだけでなく、多様性のインクルーシブな世の中で将来を生きていく卒業生のみんなにも知って欲しいと思い、「卒業生の皆さん、卒業おめでとう」を手話で伝えた ◆ 以前、教育委員会からの通知で5月が「手話月間」であることを知った。そこでぜひ生徒のみんなに紹介したいと考えた。すぐに神奈川県教育委員会の方に連絡し、本校でも生徒と職員に周知して手話への理解を深めたいことを伝えた。「校長だより」で紹介して、生徒や保護者及び地域の皆さんに配付することの承諾もいただけたので、毎年紹介している。ぜひ県のホームページで確認して欲しい。今年は「手話月間の周知」に加えて「小中学校向け介護職員出前授業」の実施校募集の案内もあった…(若杉)



県教育委員会ホームページ

URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/shuwa/gekkan.html>

5月29日(金)かながわ県民センターで開催されている「2026 平和のための戦争展 in よこはま」に行ってきた。5月29日の横浜大空襲の日に合わせて開催されてきた戦争展である ◆ 今年は横浜大空襲から81年になる。8千人以上の命が奪われ、当時の市民の約半数の31万人が被災した。展示されていたのは地元横浜に関する資料が中心だ。猛火の横浜、焼け跡の市街、空襲体験画、港北区日吉台地下壕、野島掩体壕(軍用機を敵の空爆から守るために土塁やコンクリートで作られた格納庫)、占領下の横浜のまち、横浜・沖縄の米軍基地など多くの貴重なものである。私たち大人、特に教育者である教員が知っておかなければならない内容だ ◆ パンフレットによると、横浜市の学童疎開の実態も知ることができる。錦台中がある神奈川区でも県内の足柄下郡・小田原地区、足柄上郡地区、津久井郡地区、港北地区などを疎開地として疎開が実施されたそうだ。昭和19年7月の新聞に記録がある。また、横浜大空襲は、「密集した木造家屋を焼き払うのに適した M69と呼ばれる集束焼夷弾攻撃により、中区・南区・西区・神奈川区を中心に、横浜の市街地は猛火につつまれた。この大空襲による被害は、直後の公式発表によれば、死者 3,650 人、重軽傷者 10,198 人、行方不明者 309 人、罹災者は 311,218 人とされる。」とある。横浜市「写真で見る横浜大空襲」により ◆ 最近ではしっかりと子どもたちに横浜大空襲のことを伝える機会がないのが残念でならない。現在の世界の現状を考えれば、若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることが重要であると思う(若杉)

◇1年生 自然体験 PAA（足柄）

中学校に入って最初の校外学習として、5月14日(月)に南足柄でグループ学習を行いました。各クラス2グループに分かれ、グループの仲間とファシリテーター（スタッフ）と協力・相談しながら様々な課題に取り組みました。簡単には成功できない課題に対して、皆で話し合い、試行錯誤を繰り返して成功を遂げた時の達成感にあふれた表情が印象的でした。

この活動は、グループ全員の協力が不可欠です。リーダーシップを発揮して仲間へ指示を出す人、仲間を信頼して行動する人、全員がそれぞれの役割を果たし、仲間を信頼できたことが成功につながったのだと思います。

是非、今後の学校生活でも今回学んだことを活かして、よりよいクラス・学年をつくり上げていきましょう。



◇2年生 自然教室（山梨）

2学年は5月15日（金）-16日（土）に山梨県の西湖へ自然教室に行ってきました。「218人絆の輪」のスローガンのもと、カヌー体験やほうとう作り等の共同作業を通じ、仲間と息を合わせ、目標に向かって協力する大切さを学び、キャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。

終了後のアンケートでは、98%以上の生徒がクラスや学年絆の深まりを実感し、規律面では、約95%の生徒がルールへの遵守を意識することができたという回答でした。宿泊先でも礼儀正しさを高く評価していただくような誇らしい場面もありました。一方で、時間を意識した行動や夜間の過ごし方、楽しむ時と集中する時の「メリハリ」に関して、生徒自身が集団生活の課題として明確に自覚していることも浮かび上がってきました。

これらの経験は単なる思い出作りではなく、自然教室で得た団結力と、自覚した学年の課題という「伸びしろ」を、日々の学校生活に還元していくことが重要になります。学校の中核を担う学年として、自らを律し、互いを高め合える集団へと成長していきたいと思っています。



◇修学旅行（奈良・京都・大阪）

3年生は、5月22日(金)から24日(日)まで、京都・奈良・大阪方面へ修学旅行に行ってきました。スローガンは「3年間の集大成 ～いにしえを学びにいい西へ ここでしか感じられないものを～」です。2年生の時から、実行委員を中心に、決まりや持ち物、食事のメニューなどについて、放課後や昼休みなどを使って話し合い、準備、計画を重ねてきました。また、3年生になってからも短い時間の中で、活動班、部屋のメンバー決めや京都・奈良の班別行動の計画について、学級の中で話し合いました。

1日目は京都駅から近鉄線を使って、奈良公園（東大寺）付近を班別で散策しました。この日は朝の集合の際に強い雨に降られ、天候が心配されましたが、班別行動の際には天気も回復し、充実した活動になりました。歴史的建造物や文化財を見たり、鹿と戯れたりすることで、多くの文化にふれることができました。2日目のタクシーでの班別行動では、京都市内を回りました。計画通りに、すべての見学地を回る事ができない班もありましたが、多くの寺社仏閣を巡り、歴史を学び、班員との交流を深めることができました。班別行動の後は大江能楽堂に行き、能を鑑賞しました。施設の方からの能の説明、代表者による体験や公演の鑑賞を通して、能の歴史やルーツについて学びました。3日目は、なんばグランド花月で漫才と新喜劇を鑑賞し、テレビを凌ぐ臨場感や熱気を感じながら、学年みんなで笑い、最高の時間を共有することができました。

修学旅行では一人ひとりが「歴史・文化・伝統やルール・マナーについて学ぶこと」、「班別行動や係活動から他者との協働や、自らの役割に責任をもつことの重要性について考えること」、「活動中の仲間とのコミュニケーションを通じて団結や絆を深めること」を心がけて、充実した3日間を過ごすことができたと思います。この就学旅行で学んだことを、これからの学校行事や生活の中で活かし、学校の顔として、全体を引っ張って行ってほしいと思います。一回り成長した3年生が、これからもいろいろな場面で活躍してくれることを、職員一同願っています。



◇学校からのお知らせ

学校管理下外*の事故（負傷）では、横浜市安全教育振興会の見舞金を申請できる場合があります。また、部活動中の負傷でも、見舞金の申請ができる場合があります。詳しくは、QRを参考に確認をお願いします。※下校後から次の登校までの時間、土日祝日等



◇6・7月の主な予定（詳細は別紙 行事予定をご覧ください）

6月

日	給食	諸行事
1日	○	体育祭 ※予備日Ⅰ：3日、予備日Ⅱ：5日
2日	休業日	開港記念日
4日	○	3年生・7組歯科健診
10日	×	1学期期末試験（1年：学・数・美、2年：学・数・美、3年：技家・数・音）
11日	×	1学期期末試験（1年：理・英・学、2年：理・英・音、3年：理・英・美）
12日	×	1学期期末試験（保体・社・国） 2年生保護者修学旅行説明会（14:00～） 3年生保護者進路説明会（15:20～）
18日	○	3年生内科検診 7組交流会
23日	○	小中一貫授業研（1年生：5時間、2・3年生：4時間）
25日	○	全学年眼科検診
26日	○	生徒総会



7月（仮）

日	給食	諸行事
1日	○	1年生学区内探検
7日	○	学校運営協議会、学校家庭地域連携事業実行委員会
9日～ 14日	○	三者面談
15日	○	地区別生徒集会
16日	○	大掃除
17日	×	1学期終業式 学習相談
18日～ 8月26日	×	夏季休業



2027年は神奈川区制100周年

